

親愛なる皆さん

マーヤ(迷妄)に苦しんでいる人類のために神の愛と恩寵の目に見える姿として地上に下生された神の化身の方々の生誕記念日を敬虔な気持ちで祝う時、私たちの意識は高揚し、その常に生き生きとした存在に意識の波長を合わせることができます。実践することを通じて私たちがアヴァターの方々が教えて下さった不滅の真理を吸収する努力をおこななければ、それぞれの生涯の持つ意味が徐々によくわかるようになります。無数の信者がバガヴァン クリシュナの生誕に敬意を表すジャンマシュタミというこの神聖な日に、皆さんは聖なる愛が実に純粹にクリシュナの中に現れていると感じ、そして自我意識に囚われた状態から、魂が生まれながらにして持っている当然の権利である自由と至福へと至る旅の途中で私たち一人一人が直面しなければならないマーヤ(迷妄)との戦いにおいて力を得ることができます。聖典「バガヴァッド ギター」に込められたクリシュナの叡知を自らの生きる指針としなさい。そして瞑想中に交わされる魂と神の霊との霊交によって直観的に得られる解脱をもたらす真理をアルジュナのように日々の生活の中で活用するなら、この世における迷妄との戦いにおいて勝利は保証されていることを確信しましょう。

この世の複雑さと混乱した状態、そして注目することを求める多くの要求の中で、かつて神と一つであったという記憶は魂の奥深いところで永遠に生き続け、物質的な生き方をすることによってもたらされる刹那的な喜びよりも何かもっと長く続くものを求める気持ちと呼び覚ましてくれます。神の使者として地上に使わされるアヴァターの方々を通じて神は “わたしのことを思い出さない！ わたしの愛を思い出さない！” と常に呼び掛けておられるとグルデヴァ パラマハンサ ヨガナンダは私たちに言われました。しかし五つの感覚、自我の欲望、そして物事を理性的に判断しようとする心は全力を尽くして私生活を日常生活というドラマの中に巻き込もうとしています。アルジュナがクルー族という敵と戦うことをためらったように、最も誠実な信者でさえもっと高邁な、もっと変わることはない幸せを求めるために克服しなくてはいけないことがたくさんあり過ぎて途方に暮れてしまったり、簡単に満足を与えてくれる慣れ親しんだ習慣を手放したくなくて、やる気の起きない時があるものです。アルジュナがこのように決心がつかなくて苦しんでいる様子を見たクリシュナはアルジュナの魂の英雄的な性質に訴えかけました、“おお、敵を滅ぼす者よ、卑小なる心の弱さを捨てよ！ 立ち上がれ！” この言葉は私たち一人一人の心の中にいる霊的な敵を滅ぼす者を目覚めさせるためのものです。もし私たちが神を信頼し、自らの内面的な戦いに勇気を持って立ち向かい、自分の変えなくてはいけないところを認め、私たちの決心や信仰を試そうとする経験にひるむことなく、そして落胆することを決して自らに許さなければ、自己に内在する最も尊い性質を引き出すことができます。日々出会う試練さえ、マーヤという迷妄から自由になるための手段として利用することができるのです。

日常生活という試験場で私たちは心と身体^{からだ}を賢明に支配するための力を獲得することができません。しかしこの世の二元性から究極の自由を得るためには魂の科学である瞑想と神の恩寵もまた必要不可欠であることをクリシュナはアルジュナに強調しました。グルジが与えて下さった神聖な行法を誠実に実践することによって心の乱れは静めることができます。その平安にさらに深く浸るにつれて 迷妄という覆い^{おおい}の背後に常にあなたと一緒にいて下さる神の存在を見いだすことができます。あなたが神と一緒にいる時、マーヤ(迷妄)はその力を失います。肉体意識という拘束から解放され、目覚めつつあるあなたの魂は神の無限の、すべてを満たす愛を受け入れるために自らを解放するのです。

バガヴァン クリシュナとグルデヴァの導きと祝福がいつまでも皆さんと共にありますように。

スリ ムリナリニ マタ SRF/YSS 会長

この文章に関する全ての著作権はセルフ-リアライゼーション フェロウシップが所有しています。

Copyright © 2014 Self-Realization Fellowship. All rights reserved.

この文章は横浜瞑想サークルが独自に翻訳したものであり、SRF の正式な翻訳ではありません。